

# アーチェリー部 健闘！ インターハイ女子団体準優勝！！

## 女子個人石井準優勝！！男子団体9位！！

8月7日（木）、8日（金）の2日間、山口県岩国市愛宕スポーツコンプレックス陸上競技場にて、令和7年度全国高等学校総合体育大会高円宮賜杯第58回全国高等学校アーチェリー選手権大会が開催された。1日目は72射の点数での個人順位及び、3人の合計点数で上位16校が決勝トーナメントへ進む団体戦の予選が行われた。

1日目、本校アーチェリー部は、女子個人で石井美羽（普通3年）が635点という高得点で準優勝、澤田こころ（準特3年）も6位に入賞することができた。また、団体戦の予選順位は女子団体は3人の合計点数が1811点と2位に49点差もつけ、1位通過をすることができた。男子団体は12位で通過をすることができた。



【左：個人6位の澤田 右：個人準優勝の石井】

むかえた2日目、団体戦（一人2本の計6射の合計点数で各エンドを競う）では、男子は予選を5位で通過した、千葉県の子葉黎明高等学校と対戦。1エンド目は東明53点ー黎明52点という高いレベルで制したが、2エンド目以降で、千葉県黎明が調子を上げ、敗退。9位という結果になった。

女子は予選1位の實力そのままに、危なげなく決勝へコマを進め、予選2位の強豪・大阪府近畿大学附属高等学校と対戦。団体優勝がかかっているというプレッシャーもあり、1・2エンドを相手校に先取され、追い詰められた。3エンド目からは石井（普通3年）の発案により、打つ順番を変え、3・4エンドを取り返し、シュートオフ（一人1本の計3射の合計点数で勝敗を決する）へと持ち込んだ。

シュートオフでは先攻の近畿大学附属高等学校が23点を取り、後攻の大分東明は21点。惜しくも敗退したが、団体準優勝という結果を残すことができた。3年生のメンバーは特に「今年こそは優勝を」という強い気持ちで挑んだ今大会であったが、わずかに届かず悔し涙を流し、「この思いを後輩へ託したい」と語った。



【団体メンバー：

上段左から安東（普通3年）・藏田（準特2年）・吉良（準特1年）・姫野（準特2年）  
下段左から久留主（準特1年）・澤田（準特3年）・石井（普通3年）・一宮（準特2年）】